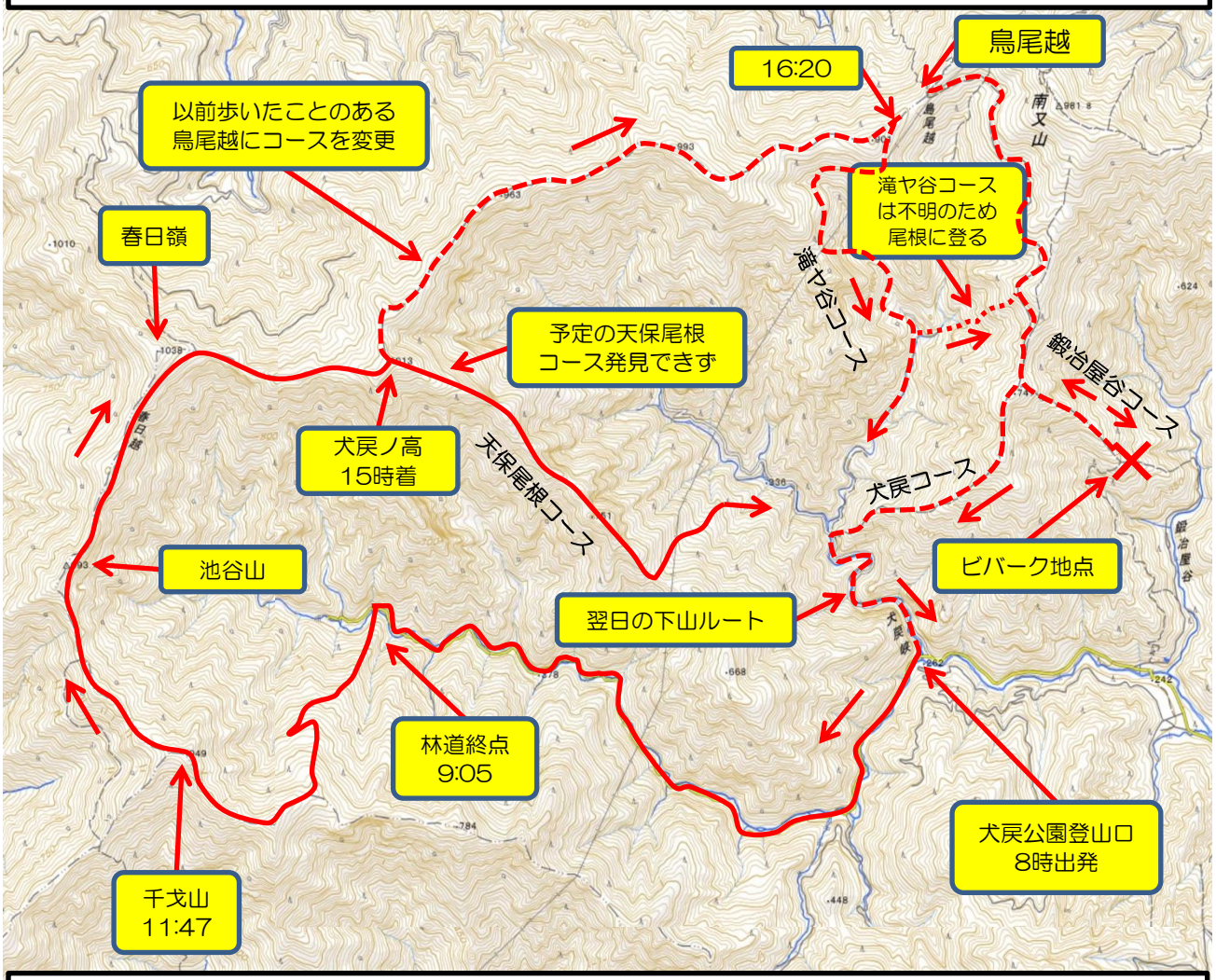
犬戻ノ高遭難（2020年9月）

男性、単独で日帰り登山を計画。下山ルートが分からず過去に歩いた山域に回り道するもここでも道が分からない。ヘッドライトを持参しなかったため、暗くなったところでビバーク。翌日下山するも救助隊が捜索に出ていた。



解説

この山域は、あまり人が入っていないのか？ヤマレコで検索しても足跡があまりついていない。YAMAPでは登山道は無い。バリエーションコースだと考えてよいのでそれなりの読図能力が必要だ。

天保尾根コースは道が分かりにくいとHPに書かれているが、犬戻ノ高からコンパスで天保尾根の方向を探せばよいと思うが、単独で時間も押している状態では冷静さを失っていたのだろうか？過去に歩いたことがある道を選択するのもありだが、目的地の犬戻ノ高に15時では、登山の出発が遅いと言わざるを得ない。

滝ヤ谷コースを選ぶも途中で道が不明瞭となり沢をそのまま下らずに、鍛冶屋谷コースの尾根に登っている。これも判断は間違いではないが、ヘッドライトを持っていない状況で遠回りのコースを選んでいる。いよいよ暗くなり、鍛冶屋谷コースは崖があり道も分からず、ビバークとなった。

翌日、下山した道を戻り、犬戻コースを下山し、AM8：20、登山口に戻ることができた。

道が不明瞭となって3回コース変更をしているが、地図をしっかり見て、あるいは、地図アプリを使用して、計画どおりの天保尾根を下れる読図能力を身につけてほしい。また、日帰りとはいえ最低限の装備を持つことも重要だ。ココヘリ保険に加入されていて、最悪の事態は避けられる事前準備はされていたので、このところは参考にしたい。